

一度洪水被害が発生すればほとんどの家屋等が水没する摂津市は、市外の安全な場所へ確実に避難する広域避難が基本である。摂津市の高台まちづくりとは、基本である広域避難が難しい避難行動要支援者（高齢者、障害者等）や事前の広域避難ができなかった住民が一時的にであっても避難できるスペース（高台）を市内の身近な場所に確保し、複数の高台をネットワーク化して避難・救助体制を確立した上で、地域の魅力の向上や賑わい等があるまちづくりをいう。

高台まちづくりは、まだ全国的にも珍しく、市民に浸透していない取組であることもあり、これまでの都市計画決定に関わる一連のフローよりも、地元住民へより丁寧な説明機会・意見聴取機会の確保が必要と考えられる

検討段階からの住民参加：説明会等の複数開催

非常に不確実な未来を想定してのランドデザインの検討であるため、初期段階から住民参加による検討は必須と考えており、できる限りの地元住民の意見を聴取していく。

